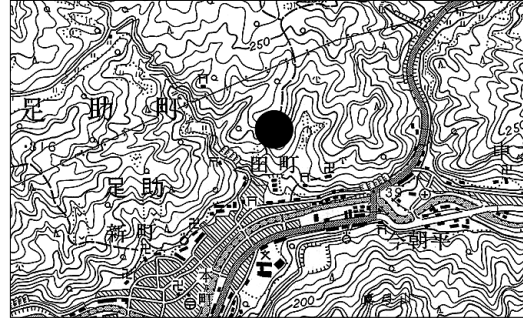


しるやま
城山城遺跡 範囲確認調査

所在地 東加茂郡足助町地内
 調査理由 国道 153 号足助バイパス建設
 調査期間 平成 11 年 7 月
 調査面積 300 m²
 担当者 佐藤公保・鈴木正貴・花井 伸

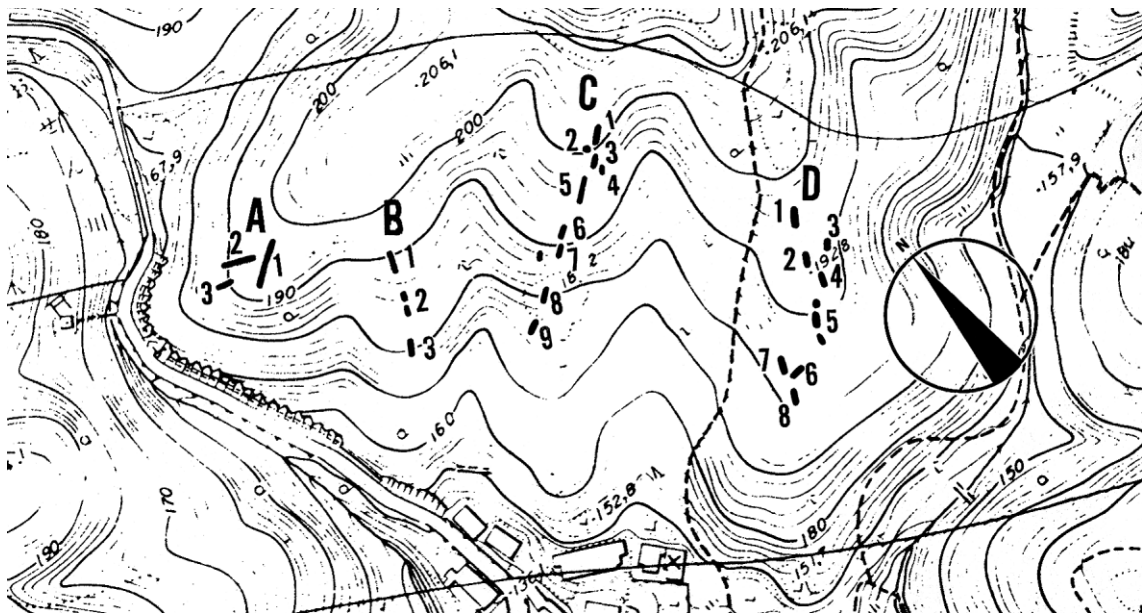


調査地点 (1/2.5 万「足助」)

調査の経過 調査は、国道 153 号足助バイパス建設に伴うもので、建設省より愛知県教育委員会を通じて委託を受け、平成 11 年 7 月に行った。道路予定地内における城山城遺跡の埋蔵文化財包蔵地の範囲を推定するために、23 か所にテストトレンチを設定した。調査面積は、300 m²である。なお、テストトレンチは、尾根ごとに西から A～D の 4 地区に大別した。

立地と環境 城山城遺跡は足助川の右岸、城山の南側に延びる尾根上に存在する遺跡で、標高約 200 m に立地している。足助町には、飯盛城をはじめ数多くの中世城館が存在している。

調査の概要 A 地区の T.T 1 及び D 地区の T.T 1 から戦国時代の堀切状の遺構が確認された。これにより、A 地区及び D 地区の上半部の平地は曲輪として機能していたと考えられる。また各地区で戦国時代から江戸時代までの遺構・遺物が確認された。これらの大半は、城山城主郭から延びる各尾根上に展開した小規模な曲輪群に伴うものと考えられる。調査の結果、城山城遺跡の範囲は、従来中世城館分布調査などで知られていた城郭の範囲よりも若干広く考えなければならないと思われる。なお、遺物は 15 世紀中頃まで遡る資料はなく、16 世紀以降のものばかりである。近世の遺物も比較的多く認められることから、近世に至っても何らかの土地利用が行われていたと考えられる。
 (花井 伸)



城山城遺跡範囲確認調査地点 (1 : 2,500)